

て打ちます。

## 遊 戯

### 古澤 静子

#### 兵隊あそび

大東亞戰爭勃發以來九ヶ月、皇軍の赫々たる戦果は、全世界の驚異と絶讃のうちに、新たなる大東亞の歴史を生みつゝある。

より潑漑たる幼児の身心たらしむべく、今月は戶外運動として「兵隊あそび」を遊戯化してみたいと思つた。即ち、全員集合より、進軍、開戦、攻撃、勝利、凱旋に至ると云ふ物語りを、唱歌遊戯の「兵隊ごっこ」及び「太平洋行進曲」を中心として、正常歩、駢足の豫備運動より、胸背腹平均跳躍等の様々な運動に至るまでの一連の運動形式を含ませて取扱つてみたいと思つたのである。

次に其の形式は、

組の編成……戦争ごっこの場合には敵味方に分れ、男兒は兵隊女兒は看護婦になつて甲斐々々しく活動するが、こゝでは、男女の別及敵味方の別なく一組全體を日本軍とし、先生を總指揮官に任ずる。そして假想敵軍の前に全面的攻撃態勢をとる。

場 所……園庭

用 具……園庭の地形地物チャングルを利用し、平均臺様のもの、跳越しに適當な箱を用意する。

樂 器……オルガンハーモニカ等、メロデーの出せるものを

用ひ度い。

○所要時間……約三十分

では今から兵隊遊び「南方〇〇島〇〇攻略」をはじめぬ。

一、「集合」指揮官の笛の合圖に依り、全員各所より集り、二列縦隊に整列する。

「忠勇なる我が部隊が〇〇島攻略の爲に集つて参りました」。

二、「進軍開始」敵地へ進軍を開始しました。勇しく歩きませう。一同右臂を曲げて銃をとり、股を高く上げて歩調をとり、行進曲に合はせながら行進する。園庭の廣さに應じ、適當な距離を歩く。

三、「橋渡り」(平均運動)「有名な〇〇河に出ました」そこで工兵隊一四、五人選ぶ。は橋をかけなければならぬ。成るべく幅の狭い平均臺状のものを持つて来て並び、兵隊は列を作つて、一人づゝ渡つてゆく。成るべく急いで渡つて下さい。然し落着いて、河に落ちない様。

四、「クリークにて舟漕ぎ」(背腹の運動) 橋を渡つて暫く進むとクリークに出ました。「皆で舟を漕いで渡りませう」。橋の次に少し歩き、八人乃至十人づゝ縦隊に並び、其の場に止つて、臂の屈伸と共に上體を前後屈しながら舟漕ぎの動作を行ふ。舟の曲で伴奏する。

五、「這ふ」次に敵前上陸を行ふ。一同這ふか、又は上體を全屈して小さくなつて歩く。

六、「小休止」 次の激戦を豫想してこゝで暫く休憩する事にし、その場に腰を下ろして休む。

七、「密林を突破」(攀登運動) 「今度は物凄く密林にさしかゝりました。これを突破し、敵陣目がけて襲撃しなければなりません。園庭にあるツヤングルを、一方の端から端へくゞり抜けたり、登つたり下つたりして、暫く遊び、指揮官の合圖に依り再びツヤングルの前に整列し、駈足で進む。

八、「小山越し」(跳躍運動) 「小山にさしかゝりましたが、勢よく跳越しませう」先生は跳越せる程度の小箱、積木類を二、三個並べ、兵隊達は一人づゝ跳越して通る。

九、「大攻撃開始」(唱歌遊戯兵隊ごっこ) 「愈々敵陣に迫りました。大攻撃が開始されます。こゝで圓形を作り、元氣よく歌ひながら、「兵隊ごっこ」の遊戯をする。歌詞トチタチタチタチターの次にドン／＼と砲撃の音を入れて長く打ち合ひ、二三回遊戯を繰返す。

〇、「大勝利」 「勇敢な日本軍の大勝利です。空には銀翼を連ねて友軍機がとんでゐます。皆さん一緒に萬歳しませう。遊戯の後、合圖に依つて一同立ち上り、両手を高く上げ胸を反らして萬歳し、空を見上げる。

一一、「お祝ひの遊戯」(唱歌遊戯太平洋行進曲)

再び圓形になり、太平洋行進曲の遊戯をする。

一二、「凱旋」 「一同揃つてめでたく凱旋いたします。圓形をほゞき、縦隊になつて愛國行進曲を歌ひながら颯々と行進する。

場所及び用具に依りもつと面白く變化ある方法が考へられると思ふが、思ひ出したまゝに簡單な一例をあげてみた。

### 観 察

清水光子

朝 顔

夏休みが終つて久し振りに来た幼稚園は何でもが新しく、嬉しい。お休み前にみんなで世話したお庭の草花がどんなになつたか、見てまはらう。朝顔は中でもずつとつといひてみて来たといふわけで親しみ深い、花はもう大分小さくなつたらう。もうあまり咲かないかも知れない。實が出来てゐる。その様子をそのまゝ話し合ひ乍らみる。鉢植のものがあれば殊にいゝがなければ蔓のまゝを切つて、朝早く日蔭に置く。そして日向のはもうつぼんだけれどこゝのはまだ咲いてゐると話し乍ら寫生したり、録筆したりする。幼い頃の記憶の中に朝顔の花でしたまゝこゝのことははつきり残つてゐるが、赤や紫の花汁がきれいなこちさうになる。それから明日咲く花を待つといふと少し大げさであるが明日はいくつ咲くか数へてみませうかと蕾をかぞへておく。思ひがけない所に咲いてゐる数が當らなかつたりするがそれが又面白い、蕾も花も、若い實も、出来上つた實もあつて、朝顔でこくおぼるげ乍ら花から實へのつながりがみられる。この花が色がいいから又来年もこんなのが咲くやうにこの花の種子をとりませう、花と